



DM3/DM3 Standard ファームウェア アップデートガイド

ヤマハ製品をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。

このガイドでは、DM3/DM3 Standard のファームウェアをアップデートする手順を説明します。

■ ご注意(必ずお読みください)

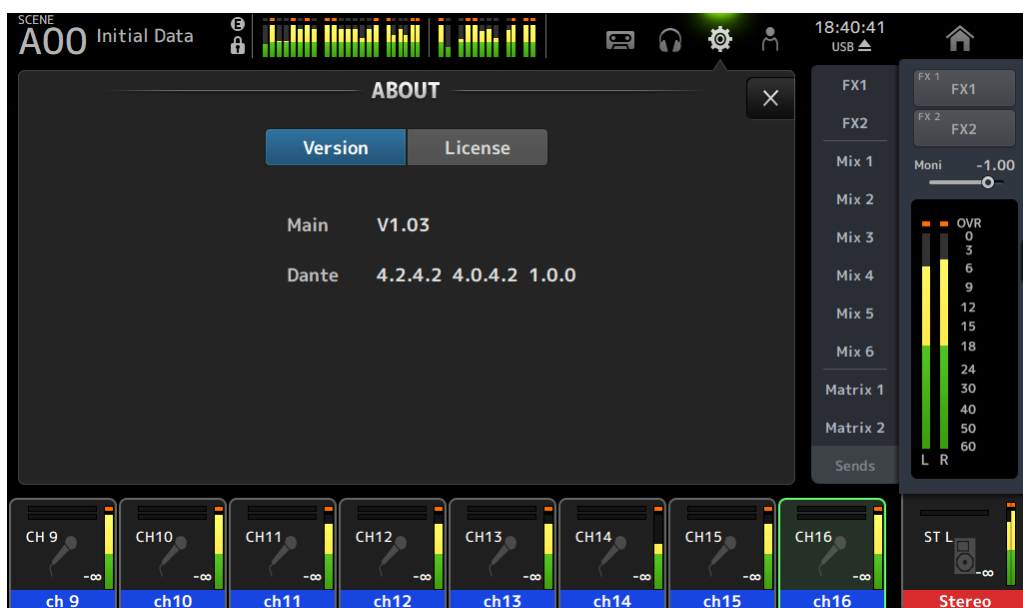
- ・ アップデート作業は、お客様ご自身の責任において行なっていただきます。
- ・ **アップデート作業中（データのロード中）に機器の電源を切ったり、本体の操作子を操作したり、このガイドに記載された手順と異なった操作をされますと、機器が故障する場合がありますのでご注意ください。**
- ・ アップデート作業に失敗し、もう一度アップデート作業を実行しても機器が正しく動作しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ・ ファームウェアおよびガイドの著作権は、すべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ ファームウェア、ソフトウェアおよびガイドの一部、または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このガイドに掲載されている画面は、すべて操作説明のためのもので、実際の画面と異なる場合がありますので、ご了承ください。
- ・ その他掲載されている会社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

■ バージョンアップ時のご注意

DM3 シリーズを V1.13 以前のバージョンから V2.00 以降のバージョンにアップデートするとき、アップデート途中にコンソールが自動で再起動しない場合があります。以下の手順にて手動で再起動してください。アップデート開始して約 1 分でディスプレイの表示がすべて消えて、[SEL]キーおよび画面左上のカーソルのみが点滅する状態となりますが、これは正常にファイルが転送された状態です。10 秒ほど待ってから、電源スイッチでコンソールを再起動すると、残りのアップデートが始まります。

■ バージョンの確認方法

DM3/DM3 Standard 本体のファームウェアのバージョンは、SETUP → ABOUT 画面にあるバージョン情報で確認できます。



■ アップデートの準備

アップデート作業を実行するためには以下のものをご用意ください。

- **空き容量が 1GB 以上のフォーマット済み(FAT32)の USB メモリー**

DM3/DM3 Standard 本体でフォーマットした場合、4GB 以上のメモリーは FAT32 にフォーマットされます。フォーマット方法については「DM3 シリーズリファレンスマニュアル」をご参照ください。

コンピューターでフォーマットする場合は、コンピューターまたは OS の取扱説明書をご参照ください。

- **DM3/DM3 Standard 本体ファームウェア、Dante モジュールファームウェア**

ヤマハのプロオーディオサイト(以下の URL)から最新版をダウンロードしてください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

■ DM3/DM3 Standard 本体ファームウェアのアップデート

DM3/DM3 Standard 本体ファームウェアをアップデートする手順を説明します。
ダウンロードした圧縮ファイルはあらかじめ展開しておいてください。

DM3(Dante モジュール付き)の Dante ファームウェアアップデートに関するご注意

DM3 本体ファームウェアのアップデート中に、ポップアップメッセージで「Dante Update Error」が表示されて、Dante モジュールのファームウェアのアップデートが開始されない場合は、以下の点をご確認ください。

- Dante モジュールに Dante Device Lock がかかっている場合、Dante Controller(v3.10.0.19 以降)を使って、Dante Device Lock を解除し、DM3 本体を再起動してアップデートしてください。
 - Dante モジュールが Dante Domain Manager のドメインに登録されている場合、Dante Domain Manager を使って、ドメインから登録を解除し、DM3 本体を再起動してアップデートしてください。
 - PRIMARY ポートの IP アドレスのサブネットと、DM3 に設定している IP アドレスのサブネットが異なる場合、どちらかの IP アドレスを変更し、サブネットを一致させてから DM3 本体を再起動してください。PRIMARY ポートの IP アドレスは、Dante Controller で変更できます。DM3 に設定している IP アドレスは、NETWORK 画面から For Device Control タブで変更できます。
 - DM3/DM3 Standard ファームウェアのリリースノートもあわせてご参照ください。
- ・ Dante モジュールのファームウェアは、次回 DM3 本体起動時に自動的にアップデートされます。
 - ・ Dante モジュールのファームウェアは、Dante Updater のファームウェアファイルのインポート機能でもアップデート可能です。Dante Updater の使用方法については、[Dante ファームウェア アップデートガイド \(yamaha.com\)](#)の「ファームウェアを更新する」をご参照ください。
 - ・ 詳しくは、DM3/DM3 Standard ファームウェアのリリースノートをご参照ください。

Dante モジュールのファームウェアが破損した場合は、「[Dante モジュールのアップデートに失敗した場合](#)」(7 ページ)をご参照ください。

アップデートの流れ

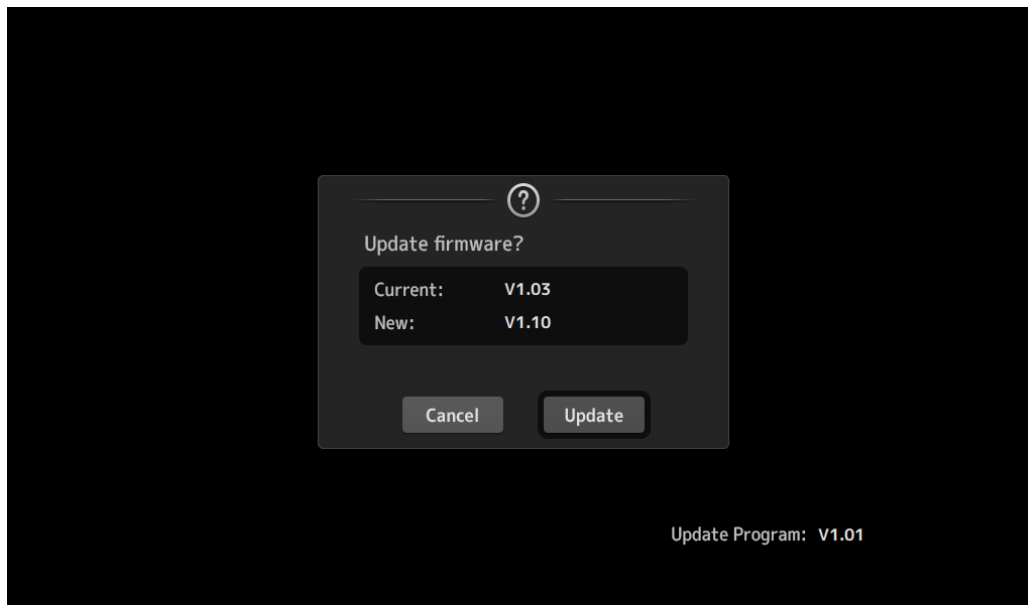
1. USB メモリーをコンピューターの USB 端子に挿入します。
2. ダウンロードした圧縮ファイル (.zip) を展開したフォルダーにある「DM3_firmware_v***.bin」ファイル(***はバージョン番号)を USB メモリーのルートディレクトリーにコピーします。

NOTE

DM3/DM3 Standard 本体のファームウェアファイル以外のデータを USB メモリーに入れないでください。

3. コピーが完了したら、USB メモリーを取り外します。
USB メモリーの取り外し方法については、コンピューターや USB メモリーの取扱説明書をご参照ください。
4. DM3/DM3 Standard 本体の電源を切ります。
5. ファームウェアファイルをコピーした USB メモリーを DM3/DM3 Standard 本体の右上にある USB 端子に挿入し、DM3/DM3 Standard 本体の電源を入れます。

「Update firmware ?」のメッセージが表示されます。



NOTE

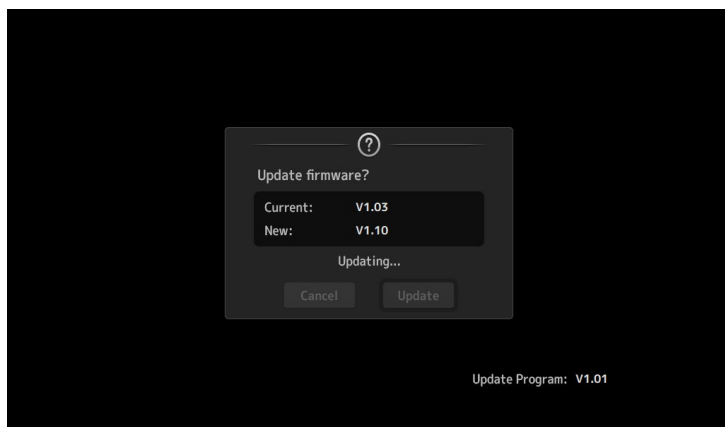
・DM3/DM3 Standard 本体のファームウェアのバージョンがアップデートするファームウェアファイルと同じ場合、この画面は表示されません。

6. 「Update」 ボタンを押します。

ご注意：

ファームウェアのアップデート中は、DM3/DM3 Standard 本体の操作子（スイッチ、ノブ、フェーダーなど）を一切操作しないでください。

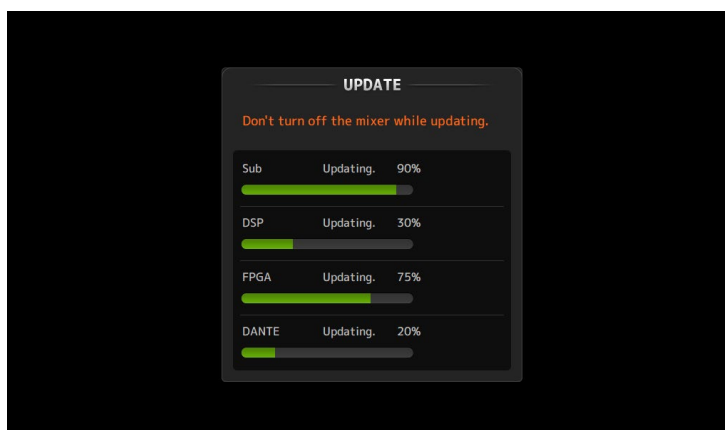
DM3/DM3 Standard 本体のファームウェアファイルが転送されます。（約 2 分）



ファイル転送が終わると、DM3/DM3 Standard 本体が再起動してオープニング画面が表示されます。



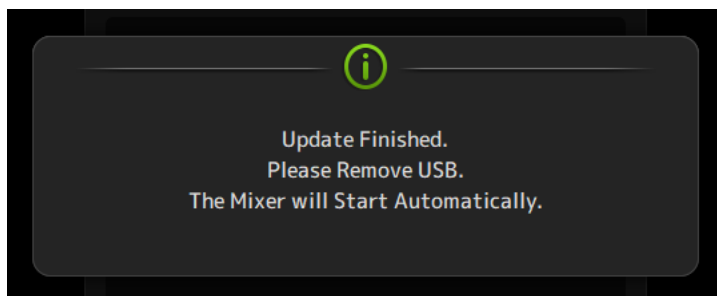
UPDATE 画面が表示されます。



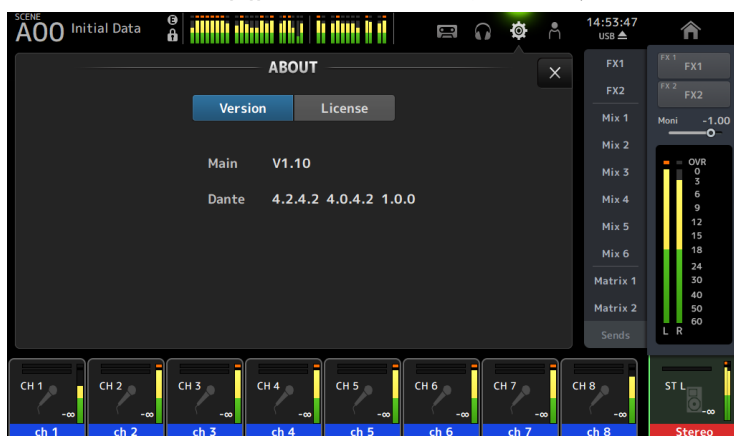
NOTE

- ・UPDATE 画面が表示されたときに、アップデート状況が途中まで進んでいたり、100%(Done)まで進んでいて、再起動を促すメッセージがすぐに表示されたりすることがありますが、これらは正常な動作です。
- ・アップデートの途中で、画面や LED インジケーターが消灯することがありますが、異常ではありません。

7. アップデート終了のメッセージが表示されたら、USB メモリーを取り外します。



8. SETUP→ABOUT 画面でバージョンを表示して、アップデートされていることを確認します。



NOTE

- ・DM3(Dante モジュール付き)では、アップデート直後に ABOUT 画面を表示すると、Dante のバージョンが「-----」と表示される場合がありますが、1 分程で Dante のバージョンが表示されます。もし Dante のバージョンが表示されない場合は、[「Dante モジュールのアップデートに失敗した場合」](#) (7 ページ)をご参照ください。

以上でファームウェアのアップデートは終了です。

NOTE

ファームウェアのバージョンによっては、シーンやライブラリーの初期プリセットにプリセットが追加される場合があります。新規プリセットを読み込むためには、本体メモリーの初期化 (Initialize All Memories) が必要です。本体メモリーの初期化については、リファレンスマニュアルの「MAINTENANCE 画面」→「Initialize All Memories 画面」をご参照ください。

■Dante モジュールのアップデートに失敗した場合

Dante モジュールは、ファームウェアのアップデート中に DM3 本体の電源がオフになるとデータが破損して使用できなくなることがあります。この状態から回復するために、Dante モジュールは「フェイルセーフモード」に入ります。

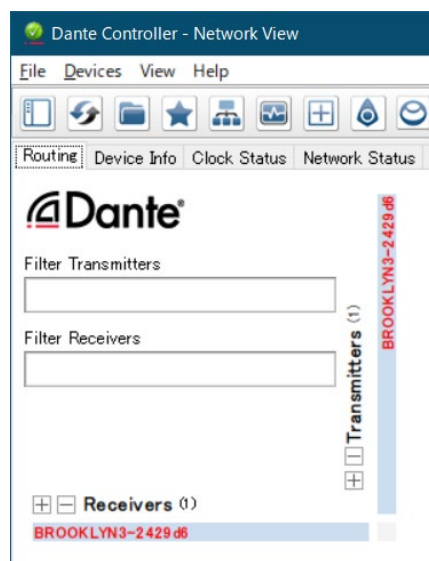
フェイルセーフモードで Dante モジュールが起動できる場合は、リカバリーイメージを Dante Updater から送ることで Dante モジュールをリカバリーできます。

Dante モジュールのファームウェアの破損の確認

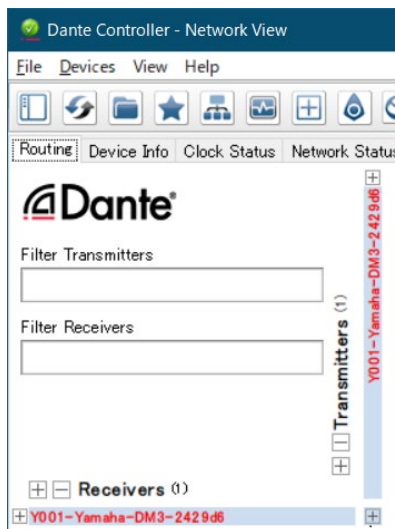
Dante モジュールのファームウェアが破損しているときは、DM3 本体の ABOUT 画面で Dante のバージョンが「-----」と表示されます。

フェイルセーフモードで Dante モジュールが起動できる場合は、Dante Controller のネットワークグリッドビューに「BROOKLYN3-xxxxxx」または「BROADWAY-xxxxxx」と赤色で表示されます。このときは Dante Controller に付属する Dante Updater を使って、Dante モジュールの復旧と最新 Dante ファームウェアのインストール及びアップデートを実施してください。

具体的な手順は、[Dante ファームウェアアップデートガイド \(yamaha.com\)](http://yamaha.com)の「フェイルセーフモードについて」をご参照ください。



フェイルセーフモードでも Dante モジュールが起動できない場合は、「Y001-Yamaha-DM3-xxxxxx」などの設定済みの Device Name が赤色で表示されます。このときは後述の「[Dante モジュールのリカバリー（フェイルセーフモード以外の場合）](#)」（8 ページ）の手順に従ってリカバリーしてください。



■Dante モジュールのリカバリー(フェイルセーフモード以外の場合)

フェイルセーフモードでも起動できなかった Dante モジュールをリカバリーする手順を説明します。

リカバリーの準備

Dante モジュールをリカバリーする場合は、Dante Updater に「FWUpdate_DM3_v*****_sw***.dnt」2 ファイル（BROOKLYN3 用、 BROADWAY 用）をインポートする必要があります。

最新版はヤマハプロオーディオウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

リカバリーの流れ

1. DM3 本体の電源をオフにします。
2. DM3 本体を Dante ネットワークから切り離します。
3. DM3 本体にある[PRIMARY]端子とコンピューターの Ethernet 端子を Ethernet ケーブルで接続します。
ネットワークスイッチを経由するとリカバリー中にエラーが発生することがあります。必ずコンピューターと DM3 本体を直結させ、他の Dante 機器をコンピューターにつながないでください。
4. DM3 本体の電源をオンにします。

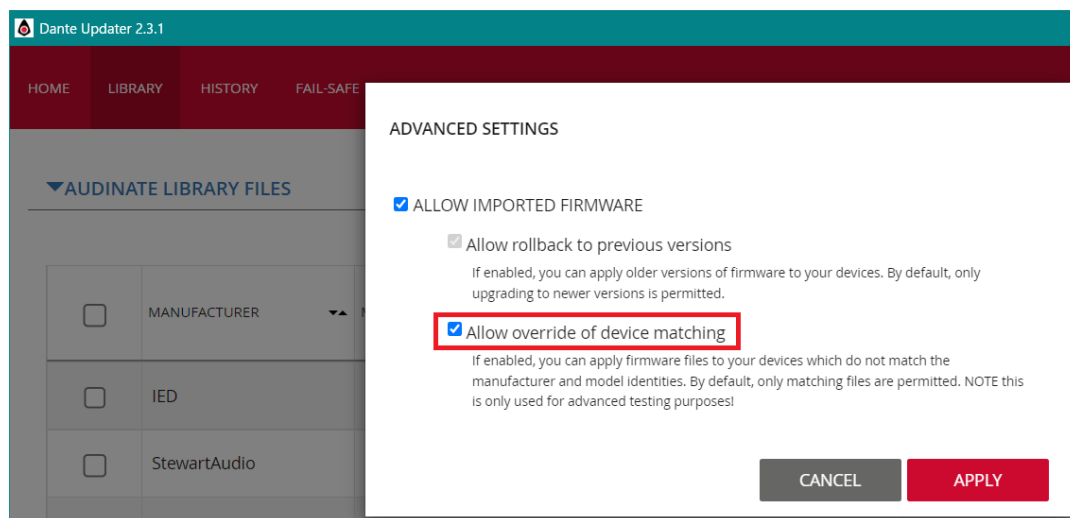
5. コンピューターで、使用するネットワークインターフェース以外のネットワークインターフェースをすべて無効にします。

無線 LAN も無効にしてください。

6. Dante Updater を起動して、Dante モジュールのファームウェアをアップデートします。

このリカバリーの場合は「Allow override of device matching」にチェックを入れてください。

具体的な手順は、[Dante ファームウェアアップデートガイド \(yamaha.com\)](https://yamaha.com)の「ファームウェアを更新する」をご参照ください。



以上でリカバリーは終了です。

© 2023 Yamaha Corporation

2025 年 1 月 発行

YJ-B0